

上下2段のつるし飾り

新たなスタイル誕生

柳川

つるし飾り「さげもん」— 3人。藤木さんは柳川

発祥の地・柳川市で、新たなスタイルが誕生した。飾りをつるすための輪を大小二つ備え、コンパクトながらも飾りが密集して豪華に見える。制作者は「二段飾り」としてアピールしている。

— 2段飾りの制作は、外部からの依頼がきっかけ。藤

制作したのは、同市シルバークラフトセンター手芸同好会の会長、藤木和子さ



新たに考案された二段飾り

木さんが中心となってレイアウト、バランスなどを検討し、その結果、小さな輪を内側に、大きな輪を外側にした二段飾りが誕生した。今回は柳川まりのみ32個飾り付けたが、袋物をつるすことも検討している。

つとよい、藤木さんは「今までにない形できれいですし、完成品を見て一緒に作った仲間もみんな喜んでいました。まりなので年中飾れます」と話した。同センターの高田淳治理事長は「藤木さんたちの力を借り、新たな形として全国にPRしていきたい」と意気込んでいる。後日、同センターホームページで詳しく紹介する予定。(牛島亮介)